



〈雑録〉歐洲ニ於ケル保險教育

原島， 茂

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 11(4):603-612

(Issue Date)

1911-10

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051781>



雜 錄

歐洲ニ於ケル保險教育

(ヘンリー・モアー氏ノ演說ニ據ル)

商學士 原 島 茂

米國保險雜誌「スベクラーター」曾テ公開狀ヲ北米ノ各大學ニ致シテ曰ク、方今保險界ニ人材ノ缺乏セルハ、其罪大學ガ保險學ノ價值ヲ認メザルニ歸因ス。當局者ハ宜シク此新興ノ一科學ニ對シテ、多大ノ尊敬ヲ拂ハザルベカラズ。今ヤ就職難ノ嘆聲ガ社會ノ各方面ニ瀾漫セルノ秋大學ガ滔々タル時勢ノ潮流ニ逆テ、依然法學、醫學及ビ神學ノ學徒ヲ養成スルニ全力ヲ傾注スルガ如キハ蓋シ愚ノ極ナリ。今若シ保險學ニシテ其發達未ダ獨立ノ存在ヲ許サレバ則チ已ム苟クモ然ラズンバ、斯學發展ノ爲メニ大ニ努力スル所ナクシテ可ナランヤト。然リ保險界ニ人

材ノ缺乏セルハ世界ノ各國ニ共通ナル一般の現象ナリ。殊ニ生命保險ニ於テ一層然リトス。而シテ氏ガ原因ニ關シテ他ニ說ヲ爲スモノアリ。其言ニ曰ク、凡ソ生命保險ハ事業其モノ、性質上企業的手腕ヲ試ミル餘地甚ダ尠キニ似タリ。蓋シ該事業ノ大半ハ舉ゲテ醫士ト外勤員トノ肩上ニ在リテ、內勤員ハ單ニ既定ノ事實ヲ整理スルニ過ギザレバナリ。今之ヲ一家ニ譬フレバ、醫士及ビ外勤員ハ生活ノ資料ヲ供給スル家長ニシテ、內勤員ハ専ラ家庭ノ整理ヲ以テ任ジ、家長ニ慰藉ト獎勵トヲ與フル家婦タルモノナリ。是レ萬腔ノ經綸ヲ胸中ニ藏スル天下ノ秀才ガ斯業ニ就クヲ潔シトセザル所以ナリ。於是乎「スベクラーター」記者ハ更ニ論ジテ曰ク、生命保險ノ內勤事務ハ甚ダ單純ナルガ故ニ、到底燃ユルガ如キ彼等ノ功名心ヲ満足セシムルコト能ハザラン。庶幾クハ去テ外勤員タレ、將來ノ發展ハ坐シテ待ツベキナリト。然レドモ是レ謂フベクシ

テ行ハレザルモノナリ。更ニ説ヲ爲スモノアリ
曰ク、元來生命保險ハ女性の事業ナリ。男子ラ
シキ男子ハ斯業ニ關ハル勿レ。“The silliest man
that ever lived has always known enough when he
says his prayers to thank God he was not born a
woman”ノ時代ハ既ニ過ギテ今ヤ“Indeed, the-
re are men to-day who regret many times a year
that they were not born women”ノ時代ニ移レ
リ。斯業ニ秀才ハ咄無用ノ長物タランノミト。
(Mrs. Shaal, Pathways of Success)

以上兩者ノ論ズル所、無稽ノ説トシテ俄ニ排
斥スルコト難シ。然レドモ其最モ有力ナル理由
ガ教育制度ノ不備ニ在ルハ爭フベカラザル事實
ナリ。北米合衆國生命保險會社ハ長協會ガ此點
ニ鑑ミル所アリ、客歲十二月九日十日ノ兩日ニ
涉リテ一大教育會議ヲ催フシ、以テ保險教育ノ
現在及ビ將來ニ就テ討議シタルハ、洵ニ機宜ノ
當ヲ得タルモノト謂フベシ。本文ハ保險學者ト

シテ將又實際家トシテ、聲名ヲ世界ニ馳セツ、
アルヘンリー、モアー氏ノ同會議ニ於ケル演説
筆記ヲ基礎トシテ敘述シタルモノナリ。

歐洲ニ於ケル保險教育ノ問題ハ、頗ル廣汎且
多岐ニ涉ルヲ以テ、今爰ニ其歐洲各國ニ於ケル
特異ノ現象ヲ捉ヘテ、之ヲ比較評論ノ材料タラ
シメントスルガ如キハ容易ノ業ニアラズ。サレ
バ吾人ハ單ニ其大要ヲ照會スルニ止メントス。

概言スレバ、歐洲ニ於ケル保險教育ガ技術的
方面ニ於テ最モ旺ナルモノアルハ掩フベカラザ
ル事實ナリ。夫ノ大學ニ於ケル保險學ハ之ニ關
スル一般の知識ノ供給ヲ以テ、其目的トスルニ
アラズシテ、專ラ其技術的研究ニ移ラントスル
者ニ對シテ豫備的教育ヲ授クルニ過ギズ。保險
教育ノ方針既ニ此ノ如キヲ以テ、歐洲ノ有ユル
國民ヲ通ジテ、一般保險ノ知識ニ乏シキハ毫モ
怪シムニ足ラザルナリ。勿論瑞西及ビ英國ノ一
部ノミハ氏ガ除外例ヲ爲スモノナリト雖モ、若

シ夫レ彼等ニ質スニ保險ノ根本原則ヲ以テセン
カ、正解ヲ與フル者ハ眞ニ寥々トシテ曉天ノ星
モ管ナラザルナリ。

ヘンリー、モアー氏ハ本問題ヲ次ノ三項即チ

(一)保險ノ技術的教育

(二)諸大學ニ於ケル保險教育

(三)保險ト普通教育

ニ分テ論ジタルモ、吾人ハ單ニ前二者ニ就テ敘
述スルニ止メントス。

(一)保險ノ技術的教育

生命保險ノ最モ高尚ナル技術的教育ガ、現時
歐洲ノ各國ニ存在シ、且ツ北米合衆國ニ於ケル
保險學會(The Actuarial Society of America)ト略
ボ同一ノ形式ヲ具ヘタル保險技師(Actuaries)ノ
團體ヲ通ジテ行ハル、モノナリトスルハ毫モ異
議ナキ所ナリ。而シテ是等多數ノ團體中最モ出
色ノ譽アルハ、巴里、倫敦及ビアムスターダム
ニ於ケルモノトス。今其一例トシテ吾人ハ倫敦

保險學會及ビ蘇國保險學會ヲ舉グベシ。

倫敦保險學會(The Institute of Actuaries of
London)ハ千八百四十八年ノ創立ニ係リ、千八
百八十四年次ノ目的ヲ達センガ爲メニ、法人タ
ル特許ヲ得タリ。

(甲)保險技師ノ職ニ從事スル者ノ知識竝ニ地
位ノ上進ヲ圖リ、併セテ其一般の教程ヲ増
加スルコト

(乙)人事ニ關スル公算論ノ適用ニ必要ナル資
料及ビ方法ノ改良及ビ擴張ヲ圖ルコト

(丙)公算ノ數理的理論竝ニ利子ノ原則ヲ研究
ノ内容トスル金融上ノ問題ヲ攻究スルコト
蘇國保險學會(The Faculty of Actuaries in Scot
land)ハ千八百五十六年ニ創設セラレ、前掲ノ學
會ニ先ヅコト十八年即チ千八百六十八年ニ法人
タル特許ヲ得タリ、今其設立ノ目的ヲ見ルニ次
ノ如シ。

(甲)生命保險會社 經營ニ參與スル者若クハ

保險技師ノ職ニ從事スル者ノ爲メニ専門學上ノ知識ヲ與フルコト

(乙) 公算竝ニ人口統計ニ關スル理論及ビ貨幣價格ニ影響ヲ及ボス金融問題、竝ニ之ト密接ノ關係ヲ有スル諸問題ヲ究攻スルコト

即チ是ナリ。右ノ中最後ノ研究事項ハ經營者及ビ保險技師ガ、其職ヲ執行スルガ爲メニ最モ須要ナルモノナリトス。

以上ノ兩學會ガ其學生ニ「Fellow」ナル稱號ヲ附與スルガ爲メニ課スル試験ハ頗ル廣汎ニシテ且ツ最モ嚴格ニ行ハル。而シテ此試験ニ應ズルガ爲メニハ敢テ各課目ニ涉リテ深遠ナル専門的知識ヲ要セザルモ、少クトモ正確ナル觀念アルコトヲ要ストセリ。吾人ハ今其代表の一例トシテ倫敦保險學會ヲ舉ゲンニ、學生ハ先ヅ完全ナル普通教育ヲ終了シタル旨ヲ證明シタル後、以下掲グル試験ニ合格スルコトヲ要ス。

(第一期試驗課目)

算術、代數、對數、公算、弄算、微分及ビ積分、

(第二期試驗課目)

複利及ビ確定年金 生死論 簿記 英
蘭銀行ノ組織及ビ運行 取引所證券

(第三期試驗課目)

死亡、疾病等ニ關スル統計ノ作製及ビ之ヲ基礎トスル諸表ノ編成 現存諸表ノ歴史及ビ其特色、保險會社ノ責任準備金ノ評價及ビ剩餘金ノ分配 保險料率ノ計算、傭主責任不健體、危險性職業等

(第四期試驗課目)

契約法、動產不動產法ノ綱要 生命保險及ビ其他保險會社法 友愛組合、年金及ビ寡婦基金 生命保險事業ノ計算、證券ノ發行其他生命保險ニ關スル實務の問題 銀行論及ビ金融論ノ大要 生命保險投資論 生命保險ニ於ケル利益竝ニ復歸權ノ實際的評價

亞米利加保險學會ノ施行スル試験モ其内容ニ至テハ略ボ上述ノモノト異ナラズ。

今上記學會ノ施行スル試験ノ狀況ヲ述ベンニ千九百十年第一期試験受験者七十名中合格者十六名、第二期試験受験者六十七名中合格者二十二名、第三期試験受験者五十名中合格者十三名而シテ第四期試験受験者十八名中合格者十二名ナリキ。

倫敦保險學會ノ施行スル資格試験ハ、雷ニ倫敦ノミナラズ、メルボルン、シドニー、モントリール、トロント、ワツタワ、ウキンニベツグ及ビカルカツタニ於テモ又行ハル。

次ニ蘇國保險學會ノ試験ノ狀況ヲ述ベンニ、千九百十年度ニ於ケル受験者ノ總數ハ九十八名ニシテ、其中第一期ニ屬スル者四十六名中十三名、第二期ニ屬スル者三十三名中十六名、而シテ最終期ノ受験者ニ屬スル者十九名中八名ノ合格者ヲ出セリ。

上記學會ノ試験施行地ハエヂンバラ¹及ビ其他蘇國ノ都市ニ於テ行ハル。而シテ蘇國學生ノ多數ハ更ニ倫敦保險學會ノ試験ニ應ズルヲ常トス。

千九百十年三月三十一日現在ノ調査ニ據レバ現今倫敦保險學會ニ屬スル Fellow ハ二百五十九名、Associates ハ三百三十五名、學生ハ三百四十八名ニシテ、此外二十一名ノ Corresponding members アリ。次ニ千九百十年八月現在蘇國保險學會ニ屬スル Fellow ハ二百五名、Honorary Fellow ハ四名、Associates ハ一名ニシテ、總數二百十名ニシテ、此外約百四十名ノ學生アリ。而シテ此學會ニ屬スル學生ハ其課スル總テノ試験ニ合格スルニアラザレバ Associates タルヲ許サレザルモノトス。サレバ Fellow タルト Associate タルトハ敢テ實質上ノ差異アルニアラズシテ、唯ダ授業料ニ甲乙アリシヲ示スニ止マルモノトス。尙上記學會ニ一名ノ Associate アルハ、

丁年未滿ナルガ故ニ Fellow ヲ許可セラレザルニ因ル。

現今蘇國ニ公認計理士ト稱スル專門計理士ノ三團體アリテ、其團體ニ加入セントスル青年ノ學力ヲ試驗スルガ爲メニ連合試驗所ノ設備ヲ有セリ。該團體ガ第一次試験トシテ課スル科目ノ重ナルモノハ、算術、代數及ビ幾何ニシテ、最終試験ニ於テハ、法律殊ニ會社法、破産法、組合法及ビ銀行法ヲ課ス。右最終試験ニ於テ最も重要ナル價值ヲ附セラル、モノハ保險學ニシテ即チ保險學ノ綱要、利子及ビ確定年金等はナリ今其一例トシテ最近ノ試験問題ヲ掲グレバ次ノ如シ。

To what sum will 50 accumulate in four years at four and half p. c. interest payable half yearly? Give the answer correct to three places of decimals.

Find the value to a purchaser of a policy of

\$1,000 on the life of a person aged 55, the annual premium of \$39.25 having just been paid.

Give the formulae for arriving at the total membership of society which is recruited annually by 100 entrants at age 20, and for the total membership on the assumption that all members are paid out at age 60.

Give expressions in commutation symbols for a life annuity, a temporary annuity, a net annual premium, and a deferred assurance.

上述ノ如ク蘇國ニ於ケル計理士團體ハ其資格試験ニ生命保險ニ關スル知識ヲ必要トスル問題ヲ課スルニ拘ラズ、英蘭土ニ於ケル計理士團體ニ在リテハ毫モ此事ナシ。然レドモ以上兩者ノ試験ニ合格シタル計理士ガ、更ニ倫敦保險學會若クハ蘇國保險學會ノ試験ニ應ズルニ至テハ則チ一ナリ。

英國ニ於ケル殆ド總テノ大都市ハ何レモ皆保

險學會ヲ有シ、是等ハ保險ニ趣味ヲ有スル者ニ依テ組織セラレ、實際上竝ニ學理上ヨリ斯學ヲ攻究シ且ツ知識ノ普及ヲ目的トセリ。今其所在地ヲ舉グレバ次ノ如シ。

Belfast London Birmingham

Manchester Bristol Newcastle-on-Tyne

Cardiff Northampton & Bedford Edinburgh

Norwich Glasgow Nottingham Ireland

(Dublin) Yorkshire Liverpool

千八百九十七年英國ニ於ケル諸種ノ保險學會ハ一大聯合ヲ組織シ其本部ヲ“The Insurance Institute of Great Britain & Ireland”ト稱セリ。

而シテ其主タル目的ハ、各種ノ保險學上ノ問題ヲ研究シ、併セテ少壯保險會社員ニ適當ナル技術的知識ヲ與フルニ在リ。而シテ此目的ヲ達スルガ爲メニ、該聯合學會ハ

(一) 各種ノ保險ニ關スル秀逸ノ論文ヲ載セタル保險雜誌ヲ發行スルコト

(二) 毎年學生ニ對シテ試験ヲ施行スルコト
(三) 秀逸ナル論文若クハ良著ニ對シテ賞金ヲ與フルコト

等ノ三方法ヲ採レリ。而シテ右ノ雜誌ハ有益ナル多數ノ論文ヲ以テ充サレ、各種ノ保險專攻學生ノ參考用トシテ推重セラル。尤モ該雜誌ハ近時重キヲ火災保險ニ置クノ傾向アリ。聯合保險學會ノ試験ハ次ノ三部ニ分テ施行セラル。

第一部 火災保險 第二部 生命保險

第三部 傷害保險

即チ是ナリ。而シテ第一部タル火災保險ノ試験課目ニハ、化學、電氣學、簿記、數學、家屋建築學、平面圖、證券ノ發行、工場及警火制度、通信文等アリ。

次ニ第二部タル生命保險ニ在リテハ、試験ヲ三期ニ別チ第一期ニハ算術代數、簿記、初等心理學ヲ課シ、第二期ニ通信文、醫學上用語ノ意義、及ビ長壽ニ關係スル著名ナル疾病ノ影響、

氣候地理、證券書式、約款、解約ニ關スル實務上ノ知識、第三期ニハ生命保險法、貸付及ビ解約、死亡表ノ起源及ビ其性質、責任準備金ノ計算ニ關スル一般原則及投資論等ナリトス。

概言スレバ第二部タル生命保險ニ在リテハ、專ラ生命保險ノ經營ニ必要ナル諸種ノ問題ヲ試驗スルニ止マリ、純然タル保險ノ技術的方面ハ寧ロ倫敦保險學會及ビ蘇國保險學會ノ行フ所ナリ。

最後ニ第三タル傷害保險ニ在リテハ、數學、地理、簿記、心理學、保險證券書式及約款、職工補償法、通信文、保險金ノ支拂及ビ其精算、盜難及ビ信用保證危險ニ關スル知識ノ一斑及ビ投資論等ナリトス。

(二) 諸大學ニ於ケル保險教育

概言スレバ歐洲ノ大學ニ於ケル保險學ガ、專ラ其技術的方面ニ重キヲ置クト云フモ敢テ不可ナキニ似タリ。勿論斯學ヲシテ一般學生ニ對シ

テ興味アルモノタラシムルカ、若クハ大學ノ敎課ニ保險學ノ大要及ビ其一般原則等ヲ列記スルニ拘ラズ、何レモ微々トシテ振ハザルヲ常トス現今多數ノ大學ガ其數學科ニ於テ公算論ヲ授クルモ、其應用例トシテ保險ニ關スル問題ヲ舉グルコト甚ダ稀ナリ。然レドモ此理論ノ實際的活用ガ最モ多ク保險ノ上ニ在ルハ何人モ異議ナキ所ナリ。

倫敦大學。輒近歐洲ニ於ケル二三ノ大學ガ、新ニ保險學ノ講座ヲ開設シタルハ夙ニ世人ノ知ル所ナラン。吾人ハ其一例トシテ倫敦大學ヲ舉ゲントス。即チ千九百三年倫敦大學ハ其敎課ニ保險學ヲ隨意科トシテ編入シ、其修業生ハ Bachelor of Science ノ稱號ヲ許セリ。敎課目ニ於ケル此發展ニ關聯シテ、倫敦保險學會副會長ジョーヂ、ヤング氏トハーコート、キツチン氏トハ夫々生命保險ト火災保險ノ講筵ヲ委嘱セラレタリ。翌年諸大學ハ學事報告書ヲ發行スルヤ、此事ニ論

及シテ曰ク、保險學ヲ攻究スル學生ノ多數ハ決シテ稱號ニ戀々タルモノニアラザルト同時ニ、拮据勉勵之ヲ得ントスル者ニ至テモ甚ダ稀ナリト。抑々此言タル該學科ノ新設以來僅々一年ノ經驗ヨリ得タル歸納的論斷ナリト雖モ、爾後依然トシテ此言ヲ反覆セザルヲ得ザル狀態ニ在リ

月沈原大學。歐洲諸國中保險ノ價值ヲ最早ク認メテ之ヲ大學ノ課程ニ編入シタルハ獨逸ヲ以テ其魁トス而シテ同國ニ於テハ之ヲ技術的方面ニ專ラナルヨリハ寧ロ普通教育ノ一部トシテ考究ス。是レ恐ラクハ保險技師ガ同國ニ於ケル文官階級ニ一系統ヲ爲セルノ結果保險會社ト保險監督局トノ間ニ親善ナル關係アルニ由來スルモノ、如シ。

月沈原大學ニ於ケル保險學講座ハ久シキ以前ヨリ經濟學並ニ社會的科學ト關聯シテ、數學及ビ保險技術上ノ教育ヲ施シ、三年ノ課程ヲ卒ヘタル者ニ Ph.D.ノ稱號ヲ許セリ。而シテ卒業生

多數ハ官吏生活ニ入ルヲ常トス。

前世紀ノ中交、獨逸ニ於テ保險ノ價值ヲ振興センガ爲メニ、之ニ關スル定期刊行物ノ企圖アリ。爾來四十年間此目的ノ爲メニ努力スル所アリシモ何レモ皆失敗ニ了リヌ。然レドモ千八百九十五年ニ至テ、Royal Seminary for Insurance Science ガ月沈原大學ニ創始セラル、ニ及ビ、爾來此例ニ倣フモノ續出シ、保險學ノ研究ニ一新生面ヲ啓ケリ。而シテ月沈原大學ニ於ケル技術的教育ハ亞米利加保險學會ト稍々同一ノ形式ヲ採レルモ、未ダ後者ノ完備セルニ如カザル狀態ニ在リ。

然レドモ技術的教育ハ保險法及ビ保險經濟ト共ニ、近時諸種ノ專門學校ニ於テ教授セラル、ニ至リ、伯林大學モ又此趨勢ニ顧ミル所アリ、先年マーネス博士ヲ聘シテ新ニ保險學講座ヲ開設スルニ至レリ。

維納大學ニモ亦保險學ノ講座アリト雖モ、他

ノ國ト同ジク其講筵ハ未ダ甚ダ不完全ナルノ譏
アルヲ免レズ。其法律書生ニ與フル保險學上ノ
知識ノ如キハ殆ド言フニ足ラザルモノアリ。

歐洲大學ニ於ケル保險教育ノ大要ハ上述ノ如
シ、念フニ生命其他ノ保險ガ現代ノ經濟組織ニ
最モ重要ナル地位ヲ占ムルノミナラズ、社會生
活上一日モ缺クベカラザルニ拘ラズ、從來經濟
學者ノ之ニ對スル態度ハ甚ダ冷淡ナリ。殊ニ社
會科學ノ學徒ニシテ全然之ヲ忘却スル者アルニ
至テハ寔ニ驚カザルヲ得ズ。